よいた —町だより—

（題字は町長内山大三筆）

No. 1　昭和39年1月10日発行

発行・与板町役場
新潟県三島郡与板町大字与板甲163
電話・与板400
編集・総務課
印刷・新潟プロセス印刷株式会社

◎ 広報の使命は？
広報活動について町長語る。

◎ 議員さん方の抱負は？
力のいれどころをおききしたので
お届けします。

よいた —町だより— を発刊するに際して

与板町長　内山大三

町民のみなさん、明けまして、おめでとうございます。

みなさんの御支援と、御協力により、多端であった昭和三十八年を、無事におくることができましたことを、厚く御礼申しあげます。

昨冬、よろこびも、悲しみもしまえこんだ忘却の箱この玉手箱をひらいて、貴重な体験をとりだし、これを足がかりとして、昭和三十九年の辰を、大きく飛躍させたいと念願しております。

「町民のみなさんによる、みんなのための、町の政治」をおこなうには、「よらしむ」政治でなく、「知って」いたゞくことが、先づ大切と考えます。

又、これからの与板町の政治は、企画し、経営するという態度でのぞみたいと思っております。

住みよい町づくりのために、企画し、そしてよりよく経営するためにも、町の行政の全般にわたって、知っていたゞくことが前提条件であります。

このような考え方から、広報というしごとを、町行政運営のための、一つの機能として、新しくとりあげた次第であり、この広報活動の一環として、広報紙発行を計画いたしました。

そして、昭和三十九年の年頭に「よいた—町だより—」創刊号をお届けできることは、誠に意義深いことであり、よろこびに堪えません。

私は、

◎町政の実態と動きを、町民のみなさんから知っていたゞきたい。

◎しって頂いたら、本当に認識していたゞきたい。

◎そして、理解の上にたっての、積極的な町行政への協力をお願いしたい、と語りかけたいと思います。

みなさんからは、

◎町中の、あるえは、「町だより」の、

◎どんな小さなこと、についても結構ですから、御意見やら、御希望やらを、遠慮なくよせていたゞき、御期待にこたえる町の政治をおこなうための、御期待に添うための、御期待に添うと与板の町だよりに育てありたいと思いますので、あらゆる機会をとらえて、色々な形での御協力を、お願い申します。

なお、これと並行いたしまして、みなさんと直接膝をまじえて、おしらせしたり、苦情を処理したりするために、〝移動役場〟を立案中であります。

これは、一定の場所へ、地域のみなさんから集っていたゞき、私共は、町政の現状をお話しできる、又御質問に対しては、なるべく即答でき、平易な事件については、すぐ処理できるような陣容でお邪魔する、ということを、たてまえにしたいと考えております。

案が成り次第、改めて御通知、お願い申しますが、このことについても、広報紙のこと同様、御協力をお願い申上げます。

◎道路の整備・災害復旧・下水処理など環境の整備

◎農業構造の改善・農地の災害復旧

◎既存産業の振興・工場誘致

◎小・中学校の設備充実

◎社会教育をはじめ教育環境の整備

◎防災体制の確立、等々

一例にしかすぎませんが、迎えた年も又、枚挙にいとまないほどの問題がございます。

東西五キロ、南北八キロメートルのひろがりをもつ与板町、この巨躯を埋めるべき術はありませんが、山積みしているこれらの問題を処理し、解決してゆくためには、この空間を超えて、声をきき、町の総意が一点に集中されなければなりません。

広報活動が、この精神的な役割を、立派に果せるように育てよう、偉大な御力添えをお願い申しあげます。

新年にあたり、そして広報紙発刊に際し、健康であるように、せいぜい歩を踏みだされと、御挨拶申しあげた次第でございます。

昭和三十八年は、統一地方選挙にはじまり、議会議員一斉選挙、つづいて十一月二十一日には、国会解散に伴う衆議院議員総選挙事務の管理執行と、公明選挙運動の推進等、有権者各位のご協力により、無事終了させて頂きました。

ことを、感謝申し上げます。

特に衆議院総選挙の結果は、県下でも優秀と認められ、管理執行優良団体として、県選挙管理委員会の表彰をうけました。

何率、今後共公明選挙運動の推進にご協力下さるよう、お願い申し上げます。

〝選挙管理委員会より〟

総選挙（衆議院議員選挙）結果

与板町の、衆議院議員選挙の投票率は、八十八、三三％で、県内十一番目でした。

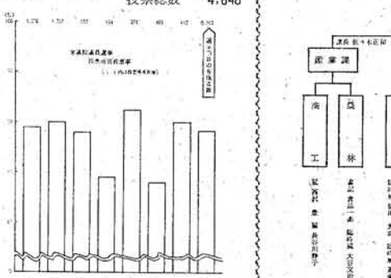
そのうち、無効投票率は、県内で一番低く、〇・四九％という、よい成績でした。

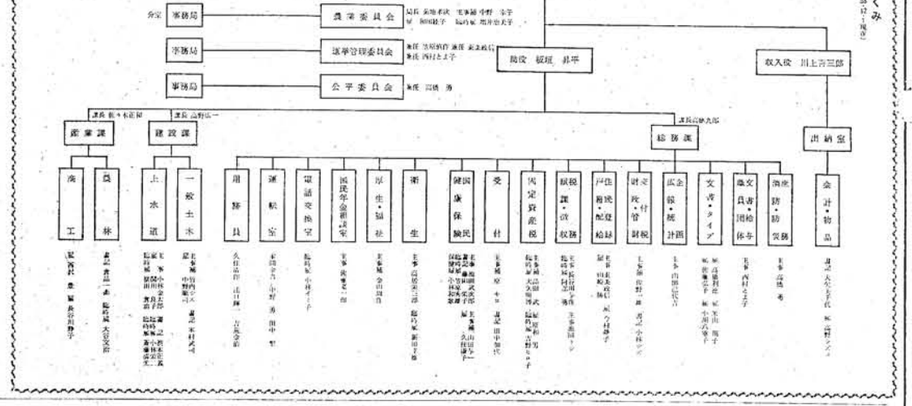
選挙に対するみなさんの、日頃の心構えから、こんなよい結果をうむことができ町の選挙管理委員会は、県から表彰をうけました。

一緒に行なわれた、裁判官の国民審査の投票率は、八十八、一六％でした。

候補者別得票数

大野　市郎	323	亘　四郎	820
田中　角栄	1,512	小林　進	774
浦沢与三郎	25	片桐　政美	44
三宅　正一	199	計	4,625
村山　達雄	870	無効投票	23
稲村　隆一	58	投票総数	4,648





謹賀新年

新潟県知事　塚田十一郎
衆議院議員　田中角栄
〃　亘四郎
〃　小林進
〃　稲村隆一
〃　村山達雄
参議院議員　佐藤芳男
〃　小柳牧衛
〃　竹内五郎
〃　杉山善太郎
県議会議員　外山勘兵衛
〃　丸山金太郎
与板町長　内山大三
助役　板垣舜平
収入役　川上善三郎

与板中学校 工作教室完工

「こゝに棚があったら」とか「戸があけたてが悪くなった」ということは、日常どこの家庭でもあることです。

たといば、棚をつったり、アイロンの故障をなおしたりするくらいの簡単なことは、誰にでもできるように、中学校にいるうちに身につけておきたい、ということで、中学校の教科の中に、技術家庭科がとりいれられたのが、昭和三十七年でした。

「工作室がほしい」……という望みがかなって、このほど、現在校舎の東側に、りっぱな教室ができあがりました。

いま、七百五十人の生徒が、と石を使ったり、かんなをかけたり、実習していますが、この工作教室は、

1 延べ、七十六、二五坪の建物で、

2 他に、十五坪のコンクリート屋外実習場

があります。

3 設計は、長岡市の深尾一級建築士に委託

4 建物は、三百二十万円で、合資会社・中村組に決定、（入札不調のため、最低入札者中村組と話しあいの結果による）

5 電気工事は、六万六千円で、久保リョ氏が落札、

6 八月二十一日着工、契約どおり、十一月十五日に、完工しました。（但し、国の補助金に関係ない電気動力工事及び廊下冬囲え等は未完）

7 十一月二十九日には、木の香も新しい木工室で完工式がおこなわれましたが、この事業の経費は、概算次のとおりでした。

しかし、内部の設備をととのえるには、まだまだ、建築費にちかいくらいの、多額の費用を必要としますので、町はもとより、みなさんの御協力をお願いします。

経費の総額	3,570,000円（予算額）
請負費	3,375,000〃（〃）
事務費	195,000〃（設計委託監理料等予算額）
調達の内訳	
国の補助金	1,298,000円（決定）
起債	1,200,000〃（〃）
町費	1,072,000〃（予算額）

昨十月二十七日、町主催の敬老会が、与板小学校で開催されました。

「お祭りのみなさんは、かつては、議員をはじめ、町の大切な役目につかれたり、あるえは、町民として、町のためにつくして下さった、大事な方達ばかりであります。

敬老会は、毎年開催する予定です。」

と、町長の挨拶ののち、婦人会・小・中学校・保育園の慰問演芸があって、たのしい集いの幕をとじました。

又、この日、六十五才以上のおとしより、六百十六人による、与板町連合福寿会が結成されました。

会長丽波善学さんを中心に、「若い人達にかわりたい」の年寄のなりきりようを、お願いします。」と話しあいがされました。

鼓笛隊誕生
—にぎやかにパレードする—

与板小学校の、創立九十周年を記念するために、P・T・Aのみなさんによる校庭づくり、九十年の歴史をしのぶ、資料あつめなど、かずかずの事業がおこなわれました。

なかでも、百余日の、はげしい練習をつんで鼓笛隊が誕生したということは、私達の新しいよろこびです。

いまも目に残るのは、町内をパレードしている与板の子供達、統一された百二十人の、堂々たる姿です。

教育的な意義からも、この鼓笛隊誕生のよろこびを、与板小学校から、寄せていただきました。

『十一月二日、数日来の雨も晴れ上って朝日がてり輝く日和となった。今日は鼓笛パレードの日だ。はじめてのことと、血湧き心躍る思いで校庭に集合した。上からも下まで真白な服装、新しい楽器がはえて美しい鼓笛隊の生みの親とも、いうべき、寄贈者笠原生五郎さんを中心に記念撮影をして、午前九時いよいよ出発する。こどもの頃、だんだんなれて快調子。心配した道路の砂利や、くぼみもそんなに苦にならない。

大せいの町民の拍手、次々にきられるカメラのシャッター、保育園の幼児が日の丸の旗を振り、リズムにあわせてくれる。感激の涙で、みんなが、おぼろになる。

御声援ありがとうございました。

長距離、長時間の演奏にそなえて「くちびるが割れ、のどから血が出るほど猛練習をせよ」といい、記念式典・展覧会・学芸会・運動会の暇々を、練習しているこどもの姿が浮かび、よくやったと思う。がんばれ、与板笛隊誕生につくされた笠原さんの、教育に対する御理解と御努力に対し、深甚なる敬意と謝意を表します。

学校でも、パレードに統一・楽譜の練習・服装の保管、手入れ等々、そのなりの問題があったが、今後ともりっぱな鼓笛隊に育てあげ、与板のこどもの固結心を高めたいと念じている。』

（町営住宅工事現場昭38.12.15撮影）

申込みは2月29日までに
—町営住宅にはいりたい方—

住宅不足を、少しでも緩和するために、町営住宅を建築中です。はいって頂けるのは、大体四月中旬になりますが、現在、住宅にお困りの方は、期限までに、お申込み下さい。

1 場所　山沢と倉谷の部落の中間で県道ぞえ。

2 建物　第二種木造町営住宅。

3 戸数　十五戸。

4 大きさ　建坪三十一平方米（約十坪）

5 家賃　二、五〇〇円位

6 入れる資格　イ与板町に住所又は、勤務場所があり、税金などを滞納していないもの。現在住宅に困っているもの。現在同居し、又は、同居しようとする親族があること。独立の生計を営んでいるもの。

7 申込方法　印かんを持って、役場受付へお申出下さい。

8 選択　申込者の実情を調査して、住宅に困っている度合の高いものから、決定します。

順位を、きめ難いときは、抽せんをいたします。

○町営住宅の建設は、昭和三十八年度事業で、大字山沢から、八百五十坪の土地を購入し、この事業一切で、約八百八十万円の予算です。

○住宅は、六畳と四畳半に押入がつき、玄関・便所・台所・物置を、三尺の廊下でつないでいます。

○二戸建が七棟、一戸建が一棟で、敷地の一角に遊園地をとってあります。

○第二種町営住宅とは、「公営住宅法」という法律による、町営住宅のことをいい延べ約六坪から六坪までの住宅をいいます。

（国の認可により決定する）

あとがき

○広報紙「よいた—町だより—」の創刊号を、お届けします。

○町の行政の全般にわたって知っていたゞくために、この広報紙「よいた—町だより—」を、かけはしの役目として、利用したいと思います。

町のかけはし（掛橋）ができました

○一ケ月おきに、全世帯配布の予定です。

○「住みよい町づくり」のための、御意見や、要望を、お待ちしています。（投書には、御記名下さい。選択は、おまかせねがいます。）

○どんなことでもかまいませんから、遠慮なくおきかせ下さい。

〝火事だ〟

では、消防の出動をはじめ、困ることがありますので、火災の電話通報は、四〇〇番（役場）を呼んで〝〇〇町の〇〇家が火事だ〟と、おきかせ願います。

○屋根や、柱を見廻って、よわいところを補強しよう。

○非常口を、つくっておこう。

○線路に雪を投げないようにしよう。

○道路におろした雪は、車がとおれるように、積かさねよう。

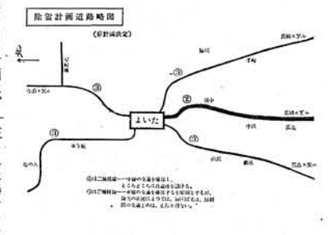
（昭和38.2.1撮影、横町）

雪害の対策としては、なんとしても、近接市町村との連絡を、無雪道路によって保つということが第一と考えられます。

県では、与板に除雪車を一台常置することになりました。

それに、近隣市町村や、業者所有の機械を加えて、万全を期したいと思います。

具体案については、県や各市町村と協議中です。



が、略図による計画は、みなさんの協力をいたゞいて、是非実行したいと思います。

一坪の屋根に五百貫!!

下が、ザラメ雪の状態だと、六尺四方に三尺つもって、二百五十貫、六尺つもると五百貫の重さになる。

（何日間かのあいだに積った雪の比重を、約〇・三とした場合の計算による。）

祝発刊
謹賀新年

会株社式　中元組
取締役社長　中元栄造
本社　三島郡寺泊町
電話　寺泊　四八、六八、七八、一〇七

会株社式　曙建設
取締役社長　田尻正之助
長岡市坂之上町一丁目六五七ノ二
電話（長岡）②四一二〇

東北建設株式会社
取締役社長　佐々木佐敏
本社　南蒲原郡中之島村中条
電話（南蒲中之島）二番
与板出張所　与板町下町
電話　四五八番

新発田建設株式会社
取締役社長　渡辺清
本社　新発田市清水谷
電話新発田（代表）三七八七番
与板出張所　与板町安永町
電話　与板二三番

会株社式　松井組
代表取締役　松井弘
本社　南蒲原郡中之島村
電話（今町）一三一番
出張所　三島郡与板町長町
電話（与板）七三番

田辺砂利合資会社
代表者　田辺武雄
本社　長岡市脇川新田町
出張所　三島郡与板町舟戸町
電話（与板）二四六番

与板ファイバー工業株式会社
取締役社長　大谷地松平
本社工場　三島郡与板町六〇一番地
電話（与板）六五番
東京出張所　東京都墨田区横川橋五の一
電話　墨田（六三〇）一七五一番
ファイバードラム東京営業所　東京都豊島区雑司ヶ谷一の一九
電話落合（九二）四七九四五番

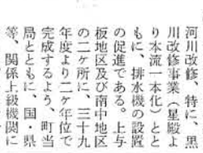
山田喜併次

① 産業の開発なくして、町の発展はあり得ない。特に、与板町の農業のゆくべき途を確立することこそ、急務である。

第一次産業が発展することによって、他産業にも、よく影響するであろう。稀々の公共事業も大切ではあるが、それは手段である。究極の目的は、アンテナをたてることではなく、テレビをみるということだ。アンテナは遠からずだつ、そろそろテレビを買う算段をしなければならない。

たとえば、農協の整備統合がいわれるが、既存の農協のよせあつめを考えるのではなく、新しい意味の与板町の農協を、与板町の農業人が創造し、そして、将来の農業の姿は、こうだ、とする町の大方針を打ち出す、というような、ものの考え方が必要であろう。

② 佐藤正信（大津農協の創始者）



柄沢 利一

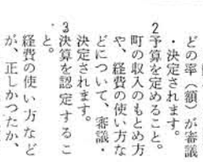
① この度、広報紙発行につき、一言申上げます。

町民永年の待望であった、与板橋完工を来春にみるにいたり、一万町民ひとしく、喜びに堪えません。

今や、与板町は、伸びんとするために、非常に大切な時期にきていると考えます。

即ち、新しく産業都市として、伸長しなければならない、という事が一点。

② 松下幸三郎（尊敬している人）



風間 信吉

① 与板町の産業発展は種々あるが、何についても

㈠ 目下の急務は、害対策と水害対策の完璧を期すこと（土木行政）である。

㈡ 次に道路・橋梁・河川改修・特に、黒川改修事業（星殿より水流一本化）とともに、排水機の設置の促進である。上与板地区及び南中地区の二ケ所に、三十九年度より二年位で完成するよう、町当局とともに、国・県等、関係上級機関に対して、去る十一月、三十九年度公共事業とともに中央陳衝した決第である。

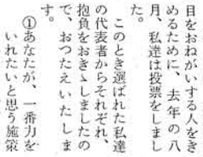
大蔵大臣田中角栄先生（尊敬している人）

② この度、産業構造改善事業の画期的発展を図るとともに、新産業の導入を、強く推進しなければならない。

それには、町は速やかに、産業人・議会・町代表が一体となっている金物振興協議会の活動を活潑にすべきだ。中座している現状である。中座が、今為、並柳・南中地区が残されている現状である。

国が、農村産業に力を入れてきた今、並柳及中田川、南中排水機を、同時に早期設置して、関係郷民が、安心して、近代農業を経営できる途を、叶いたいと考える。

② 田中大蔵大臣（実行力のある人だから）



黒川与志雄

① 農業構造改善事業緑の法律といわれる農業基本法は、農業と他産業との所得格差をなくしたい、といつておるものの、刃物工業たる既存産業の画期的発展を図るとともに、強く推進しなければならない。

それには、町は速やかに、産業人・議会・町代表が一体となっている金物振興協議会の活動を活潑にすべきだ。中座している現状である。中座が、今為、並柳・南中地区が残されている現状である。

国が、農村産業に力を入れてきた今、並柳及中田川、南中排水機を、同時に早期設置して、関係郷民が、安心して、近代農業を経営できる途を、叶いたいと考える。

② 田中大蔵大臣（実行力のある人だから）

山崎 博一

① 私は、八月二十四日、第五回目の町議会議員の立候補に際し、町民の皆様に公約し、又主張してきた事の二、三を申上げたいと思います。

第一に

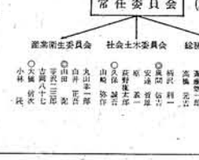
与板町産業基盤の確立、即ち交通網の整備・公共事業の道路改良・拡巾・新設等の完全実施、並に、昨年町議会で議決した黒川流域の国・県の方針である分流案を変更、星殿橋上流よりの一本化の早期実現に努力。

第二は

私の永年の主張であった、市町村住民税の国の定めた本分方式の一本化。本県では、但し当分式採用は、新潟市を除く全部の町村で実施中です。

幸いに、新年度より自治省でも認める事と相なつて、向う三ケ年間で本分方式一本化が実現をみる事になりました。

私は、過去三ケ年間、県町村議長会の監事、及び副会長として勤めてきましたが、あらゆる機会に、私の主張として意見の発表し、これを強く運動してきたのであります。



吉岡八十七

① 議員は、常に議会を通じて、充分なる討議と審議をつくし、議会は国や県の施策に乗りおくれないよう視野を広げ、意志機関としての努力をし、これを町政に反映させ、住民の要望と、町発展を期することに使命と思います。

与板町は、町是として土木出張所与板分所の昇格をきめ、すでに郡町村会及び議長会も決議請願し、県また、これを了として、敷地問題も解決しています。然るに、まだ具体化せぬ理由は、奈辺にあるか？

議会は、町当局と共に、その原因を糺明し、積極的に、反対運動によつて、早期実現を期さねばならぬ、と考えている。

私は、産業衛生委員として、特に産業開発に力を尽したいと思う。農業・工業の体質改善について、早急に、積極周到なる計画樹立をすべきである。産業道路として、国・県で計画している、関越高速道路は、猛運動して実現に最大の努力をすべきである。字数に制限があるので、私の考えの一端を申述べました。

② 田中角栄

原 義一

① 先ず産業の振興策で農業振興ならなければならない。しかし、耕地に限度がある。わが町は、なんといつても、労物工業たる既存産業の画期的発展を図るとともに、新産業の導入を、強く推進しなければならない。

それには、町は速やかに、産業人・議会・町代表が一体となつている金物振興協議会の活動を活潑にすべきだ。中座している現状である。中座が、今為、並柳・南中地区が残されている現状である。

国が、農村産業に力を入れてきた今、並柳及中田川、南中排水機の設置の促進である。上与板地区及び南中地区の二ケ所に、三十九年度より二年位で完成するよう、町当局とともに、国・県等、関係上級機関に対して、去る十一月、三十九年度公共事業とともに中央陳衝した決第である。

大蔵大臣田中角栄先生（尊敬している人）

② 関越高速道路の通過地としての、体制を整えなければならない、という事が一点。

この二点の左右によつて、与板町が、今後発展する、しないと、決されるものと思います。

私は、町当局とともに、全身全力を打込んで、議会人としての活動を通じて、前記二点の推進力となる覚悟です。

② 川上文平（表裏のない性格と、人間的和第一主義を尊敬する。）

安達 哲雄

① 町の発展をはかるということは、産業の振興なくして、なし得ない。産業の振興は、工場誘致にしても、農業・中小企業の伸長にしても、道路整備が基と考える。

陸の孤島といわれた、冬期間の当町としては、道路拡張整備による開通が先決問題である。

道路（交通）行政を確立することこそ、全町の福祉をもたらす施策の第一歩としたい。

② 田中角栄

原 義一

① 先ず産業の振興策で農業振興ならなければならない。しかし、耕地に限度がある。わが町は、なんといつても、労物工業たる既存産業の画期的発展を図るとともに、新産業の導入を、強く推進しなければならない。

それには、町は速やかに、産業人・議会・町代表が一体となつている金物振興協議会の活動を活潑にすべきだ。中座している現状である。中座が、今為、並柳・南中地区が残されている現状である。

国が、農村産業に力を入れてきた今、並柳及中田川、南中排水機の設置の促進である。上与板地区及び南中地区の二ケ所に、三十九年度より二年位で完成するよう、町当局とともに、国・県等、関係上級機関に対して、去る十一月、三十九年度公共事業とともに中央陳衝した決第である。

大蔵大臣田中角栄先生（尊敬している人）

② 良覚

斎藤惣一郎

① 社会教育の充実強化は、町が積極的に青年団の育成・地域婦人団体への協力援助、公民館・図書館の整備拡張等の社会教育に力を注ぐべきだ考えます。

大資本の進出、経営近代化が進むにつれて、与板町商店の、他に対抗出来る第一の手段であるから。

② 河野一郎（好きな人）

小原 勇蔵

① イ、余剰労働力の吸収策

ロ、道路の改修整備

ハ、商店の集団経営化促進

災害復旧事業の完了後を考えるとき、農村機械化による余剰労働力を、出来る限り吸収する工場の誘致（設置）を、商店街振興策と併せて最重点的に取上げなければならない。

従つて、道路整備を関連的に取上げてゆきたい。

大資本の進出、経営近代化が進むにつれて、与板町商店の、他に対抗出来る第一の手段であるから。

② 河野一郎（好きな人）

森 均

① 学校完全給食、及び小学校統合。

学校施設完備にともない児童の能力の伸長を計り、かつ、体力の増強、及び偏見的な卑屈感の是正を計らなければならぬ。

統合に際しては、早急に道路を完備し、「スクールバス」による、安心して通学は勿論、学校に励めるよい環境を、速やかに造るべきだと考えます。

② 福沢論吉（人の上に人を作らず、人の下に人を作らず）

山田 潔

① 建設省信濃川改修工事の附帯工事として、排水機の設置四ケ所、本与板・葛都・並柳・南中地区に、と計画が発表されたが、今為、並柳・南中地区が残されている現状である。

国が、農村産業に力を入れてきた今、並柳及中田川、南中排水機を、同時に早期設置して、関係郷民が、安心して、近代農業を経営できる途を、叶いたいと考える。

② 田中大蔵大臣（実行力のある人だから）

高橋 元吉

① 私は、まず教育予算の増額を計り、青少年の補導機関の充実と、社会教育の推進に努力致したい。

特に、小学校完全給食について郡内二十四ケ校のうち、十六ケ校の実現をみている現在、当町において、これが早期実現のため、給食センター等施設完備の研究構想に専念し、全力を傾注したい。

尚、中学校工作室の新築にかんがみ、機械器具の充実を促進し、職業能力の向上の一環としたい。

② 天野真拓先生の深い識見と人間愛は心うつものがある。その著書の生き行く道、道理の感覚等は私の愛読書の一つである。

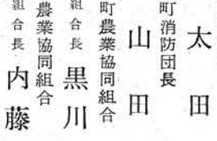
萩野権太郎

① 治水事業の急促進再度災害を繰返さぬこと。

特に黒川改修の促進。住民を洪水から、耕地を湛水から守ること。

町の建設と、発展の土台は、安住の地にして、安心して働ける環境を創ることこそ肝要である。

② 福沢諭吉先生（処世訓）



内藤清一郎

① 生活環境の安定施策と、農業基盤の整備促進。

イ、黒川改修の促進、ならびに内水排除

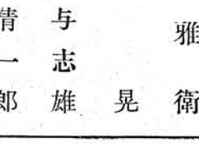
黒川の現状は、極めて危険な状態にあり、現に昭和三十六年には、破堤による大被害を蒙つている。

所謂累卵の危きにあるので、速やかに改修促進を講じたい。

ロ、現在計画による黒川改修が実施されても、尚、農地の完全排水は不可能なので、内水排除機械設備の早期実現を期したい。

ハ、前期施策実施後、徹底した農業の基盤整備を行ないたい。

② 二宮尊徳



白井 正善

① 産業立町をスローガンとしている。

まず、社会に貢献する立派な事業所が、たくさん出来て始めて町は繁栄してゆくと思っている。

従つて、工場誘致は当然の課題であろう。

幸い、現在当町は、日本一の生産パーセントをもつ大工道具の原産地である。しかし、この与板産業と言うのれんが、又実力が、どれだけの人々が、この度実現をみた事は、町民の皆様ともども喜びに堪えません。

第三に

議員としての心掛けについて、吾々議会議員は民意の代表者であり、与板町の最高議決機関の一員である事を自覚し、品位と知性、良識をもつて議会活動に当り、行財政政治の高揚を期すべきであると思います。

以上所感の一端を申述べて御挨拶と致します。

② 田中大蔵大臣（尊敬している人）

丸山幸一郎

① 広報紙発行は、私の念願であつた事なので今回の計画は喜びに堪えない。

町発展は、広報活動によつて町全体の内容を知る事だ。大いに役立つことと信じ、今後実のあるものにしたい。

三期生スタートの念願は、農政研究会をつくつて、若い人達と自由な討議を行ない、産業の近代化、特に農業生産性の拡大強化に、勇気を持つて実行に火ぶたをきることです。具体的の一例は黒川改修の実現と道路整備である。

② 県議会議員外山勝兵衛さん（先ず実行の人でなければなりません）

久保 誠吾

① 与板・長岡間の幹線道路の無雪化及電話の即時通話化の早期実現。

何故ならば、後進地与板町発展のための基本的解決策としては、道路の整備と、通信の完璧なる整備・充実が最優先である。

② 特に定めてないが、洋の東西と古今を問わず、下積の環境から身を起して、社会的地位を勝ち取つた人物が好きで、伝記・自伝を愛読している。

大橋 信次

① 関越高速自動車道路三島郡縦断のこと。

この道路建設の主旨は、恵まれない地方の所得を平均水準にひき上げることである。

山、山ではなく、丘である。

越後の深雪地帯に、無雪の百米高速路を通すならば、海岸よりの本郡後進性の与板町を、子々孫々に夢と希望を持てる町にするための糸口として、この事業に本腰をいれたい。

先ずもつて、郡内の連絡協議会を結成したら、いかが。

② 徳川家康（苦労して、希望を捨てず、よく他人の長所をとり入れ、自己の信念を常に維持しつづけた人）

小林 隆

① 強力なる農林行政の確立

所得格差是正が呼ばれ、構造改善が刻下の急務とされ、当町の金物産業と生産額においても比肩し、更に商工業の発展も、周辺農家の所得増大に負うところ大であることを思考する時、黒川改修、排水機設置の早期実現を図り、用排水体系の完璧を期して、土地改良と相まつて、生産基盤の整備、更に又、近代化資金の適応によつて、資本装備の強化を推進、農業センター等の設置による革新的技術の導入等、立体的営農の確立を期して、飛躍的所得の増大を目途に、新なる農政の方向づけに努力をしたい。

② 河野一郎（建設大臣）

山崎 弥作

① 無雪道路の実現と、村部における道路の改良整備、特に与板橋の完成に伴ない、与板・見附線の除雪により、長岡・三条方面にいたる道路を確保したい。

農林機械化に即応する道路の改良整備は、又農業改善への基盤である。

② 田中勝千代先生（恩師）

小熊 津栄門

① 産業立町をスローガンとしている。

まず、社会に貢献する立派な事業所が、たくさん出来て始めて町は繁栄してゆくと思っている。

従つて、工場誘致は当然の課題であろう。

幸い、現在当町は、日本一の生産パーセントをもつ大工道具の原産地である。しかし、この与板産業と言うのれんが、又実力が、どれだけの人々

内藤 清一

田村 太郎

高橋 ヨシ

東条 クニ

中川 光男

謹賀新年

与板町議会議長　黒川与志雄
外議員一同

与板町教育委員会
教育長　駒形新作
委員長　於島菅次

与板町農業委員会
会長　藤井喜作

与板町選挙管理委員会
委員長　猪井彦次郎

新潟県立与板高等学校長　本間敏雄

与板中学校長　遠山清次

与板小学校長　大久保正夫

黒川小学校長　太田雅衛

与板町消防団長　山田晃

与板町農業協同組合
組合長　黒川与志雄

黒川農業協同組合
組合長　内藤清一郎

大津農業協同組合
組合長　小熊津栄門

与板町農業共済組合
組合長　内藤清一郎

与板町商工会長　田村太郎

与板町婦人会長　高橋ヨシ

与板町黒川地区婦人会長　東条クニ

与板町青年団長　中川光男

私がいちばん力（ちから）をいれたい町のしごとは！

わたくし達の議会は、二十二人の議員で構成されています。

議会のおもな権限は、

◎町長が提出した、次のような議案を議決すること。

1条例を設けること。

町民税・固定資産税・保険税・使用料などの率（額）が審議決定されること。

2予算を定めること。

町の収入のもとの方や、経費の使い方などについて、審議・抱負をおきくしました。

3決算を認定すること。

経費の使い方などが、正しかつたか、どうか審議・認定されます。

◎常任委員会をつくつて、1町の事務に関する調査を行い、

2議案・請願・陳情などを審査します。

◎議員として、1町のしごとに対する自分の考え方を提案することができます。

このように、大切な役目をおおいかぶる人をきめるために、去年の八月、私達は投票をしました。

このとき選ばれた私達の代表者からそれぞれ、決定されました。

で、おつたえいたします。

①あなたが、一番力をいれたいと思う施策（事業）は、何んでしようか、又、その理由を、できるだけ具体的に、おきかせ下さい。

②あなたが、一番尊敬している（又は好きな）人は、どなたで

（掲載は議席番号順）

吉岡 敬

① 議員は、常に議会を通じて、充分なる討議と審議をつくし、議会は国や県の施策に乗りおくれないよう視野を広げ、意志機関としての努力をし、これを町政に反映させ、住民の要望と、町発展を期することに使命と思います。

与板町は、町是として土木出張所与板分所の昇格をきめ、すでに郡町村会及び議長会も決議請願し、県また、これを了として、敷地問題も解決しています。然るに、まだ具体化せぬ理由は、奈辺にあるか？

議会は、町当局と共に、その原因を糺明し、積極的に、反対運動によつて、早期実現を期さねばならぬ、と考えている。

私は、産業衛生委員として、特に産業開発に力を尽したいと思う。農業・工業の体質改善について、早急に、積極周到なる計画樹立をすべきである。産業道路として、国・県で計画している、関越高速道路は、猛運動して実現に最大の努力をすべきである。字数に制限があるので、私の考えの一端を申述べました。

② 田中角栄

山田 均

① 建設省信濃川改修工事の附帯工事として、排水機の設置四ケ所、本与板・葛都・並柳・南中地区に、と計画が発表されたが、今為、並柳・南中地区が残されている現状である。

国が、農村産業に力を入れてきた今、並柳及中田川、南中排水機を、同時に早期設置して、関係郷民が、安心して、近代農業を経営できる途を、叶いたいと考える。

② 田中大蔵大臣（実行力のある人だから）

菅沢二三郎

① 1産業の開発

与板町の立地条件と、既存産業・資源等を総合観察により、

イ金物振興会の育成、かつ、強化、金属試験場の設備の充実

ロ鉄工加工業・天然ガス利用工業・コンクリート工業の誘致・振興

2道路の整備

イ与板駅前・上与板駅前の広場の設置と、改良舗装

ロ町道は全線アスファルト舗装

ハ見附ノ与板線・長岡ノ寺泊線・与板ノ北の線の県道完全舗装

3環境の整備

イ下水道計画は、黒川流末川を活用し、南北縦貫下水道幹線を、つくり、各町内下水路を集結する。

ロ総合病院の設置・中央公民館の設置

ハ天然ガスの家庭用施設計画

ニ小・中学校の完全給食実施

ホ実業専門高校の誘致、もしくは、現与板高校に実業専門部の設置

② 田中角栄（人格識見を尊敬する）

久保 誠吾

① 与板・長岡間の幹線道路の無雪化及電話の即時通話化の早期実現。

何故ならば、後進地与板町発展のための基本的解決策としては、道路の整備と、通信の完璧なる整備・充実が最優先である。

② 特に定めてないが、洋の東西と古今を問わず、下積の環境から身を起して、社会的地位を勝ち取つた人物が好きで、伝記・自伝を愛読している。

大橋 信次

① 関越高速自動車道路三島郡縦断のこと。

この道路建設の主旨は、恵まれない地方の所得を平均水準にひき上げることである。

山、山ではなく、丘である。

越後の深雪地帯に、無雪の百米高速路を通すならば、海岸よりの本郡後進性の与板町を、子々孫々に夢と希望を持てる町にするための糸口として、この事業に本腰をいれたい。

先ずもつて、郡内の連絡協議会を結成したら、いかが。

② 徳川家康（苦労して、希望を捨てず、よく他人の長所をとり入れ、自己の信念を常に維持しつづけた人）

小林 隆

① 強力なる農林行政の確立

所得格差是正が呼ばれ、構造改善が刻下の急務とされ、当町の金物産業と生産額においても比肩し、更に商工業の発展も、周辺農家の所得増大に負うところ大であることを思考する時、黒川改修、排水機設置の早期実現を図り、用排水体系の完璧を期して、土地改良と相まつて、生産基盤の整備、更に又、近代化資金の適応によつて、資本装備の強化を推進、農業センター等の設置による革新的技術の導入等、立体的営農の確立を期して、飛躍的所得の増大を目途に、新なる農政の方向づけに努力をしたい。

② 河野一郎（建設大臣）

山崎 弥作

① 無雪道路の実現と、村部における道路の改良整備、特に与板橋の完成に伴ない、与板・見附線の除雪により、長岡・三条方面にいたる道路を確保したい。

農林機械化に即応する道路の改良整備は、又農業改善への基盤である。

② 田中勝千代先生（恩師）

小熊 津栄門

① 産業立町をスローガンとしている。

まず、社会に貢献する立派な事業所が、たくさん出来て始めて町は繁栄してゆくと思っている。

従つて、工場誘致は当然の課題であろう。

幸い、現在当町は、日本一の生産パーセントをもつ大工道具の原産地である。しかし、この与板産業と言うのれんが、又実力が、どれだけの人々

丸山幸一郎

① 広報紙発行は、私の念願であつた事なので今回の計画は喜びに堪えない。

町発展は、広報活動によつて町全体の内容を知る事だ。大いに役立つことと信じ、今後実のあるものにしたい。

三期生スタートの念願は、農政研究会をつくつて、若い人達と自由な討議を行ない、産業の近代化、特に農業生産性の拡大強化に、勇気を持つて実行に火ぶたをきることです。具体的の一例は黒川改修の実現と道路整備である。

② 県議会議員外山勝兵衛さん（先ず実行の人でなければなりません）

萩野権太郎

① 治水事業の急促進再度災害を繰返さぬこと。

特に黒川改修の促進。住民を洪水から、耕地を湛水から守ること。

町の建設と、発展の土台は、安住の地にして、安心して働ける環境を創ることこそ肝要である。

② 福沢諭吉先生（処世訓）

内藤清一郎

① 生活環境の安定施策と、農業基盤の整備促進。

イ、黒川改修の促進、ならびに内水排除

黒川の現状は、極めて危険な状態にあり、現に昭和三十六年には、破堤による大被害を蒙つている。

所謂累卵の危きにあるので、速やかに改修促進を講じたい。

ロ、現在計画による黒川改修が実施されても、尚、農地の完全排水は不可能なので、内水排除機械設備の早期実現を期したい。

ハ、前期施策実施後、徹底した農業の基盤整備を行ないたい。

② 二宮尊徳

内藤 清一

田村 太郎

高橋 ヨシ

東条 クニ

中川 光男

新潟日報社与板支局長　片桐幸雄
北越銀行与板支店長　野口真一郎
第四銀行与板支店長　佐藤孝雄
新潟相互銀行与板支店長　高橋耕作
地蔵堂町信用組合与板支店長　山田敬
与板警察署長　山崎喜久次
新潟県与板保健所長　森田桂次
長岡土木出張所与板分所長　小竹秀男
与板郵便局長　三輪惇三
農林省新潟統計調査事務所与板出張所長　岩崎長司
農林省新潟食糧事務所長岡支所大津出張所長　池津源一郎
新潟地方法務局与板出張所長　茂木啓治

槻原町　下横
山沢稲荷
倉谷原
柳ノ下馬場
堤泉
横長
小路本
上与馬越
蔵下
永岩
安方
舟戸
中前
堂新
南吉
中津
中田
北川岸
新
五軒
蔦
広野
都

町内委員長一同

クボセイ
久保誠電気興業株式会社
取締役社長　久保誠吾
本社　長岡市台町2ノ54（電②2727③3350）
与板営業所　新潟県与板町仲町（電53）
与板工場　新潟県与板町長町（電370）
東京出張所　北区滝野川町7ノ33（電981）3779）

有限会社　坂田組
代表社員　坂田昭治
新潟県三島郡与板町稲荷町
電話（与板）369番

有限会社　辰口組
取締役社長　石黒辰次郎
新潟県三島郡与板町中川岸
電話（与板）332番
（夜間）427番

資合会社　中村組
代表社員　中村昭
新潟県三島郡与板町南新町
電話（与板）33番・34番

今年こそ、青色申告で、所得税の確定申告と、経営の合化理を、図りましょう。

経営者が、その事業に専念するかたわら、記録を残すということは、なかなか大変なことゝ思います。

しかし、それを乗越え、一定の帳簿に記録することによつて、自分の業績が明確になり、したがつて所得税の申告も正確にでき、自然と経営の合理化がすむものと思われます。

青色申告をしますと、次のような特典が認められますので、納税が有利になるとともに、経営に無駄がなくなり、豊かな生活の基礎づくりとなります。

税務署では、青色申告者に対しては、常に記帳の指導や、決算のやり方などについて、懇篤的に育成策を講じています。

今年こそは、青色申告で、経営の合理化と、確定申告をしましょう。

毎年三月十五日までに、税務署へ提出すればよいことになつていますが、記帳は、一月一日から始めなければなりません。

次

青色申告の特典

1専従者給与の経費算入
2家事関連費の経費算入
3貸倒準備金の経費算入
4価格変動準備金の経費算入
5純損失の繰越し、繰もどし
6更正の制限
7合理化機械の特別償却
8その他二十二項目